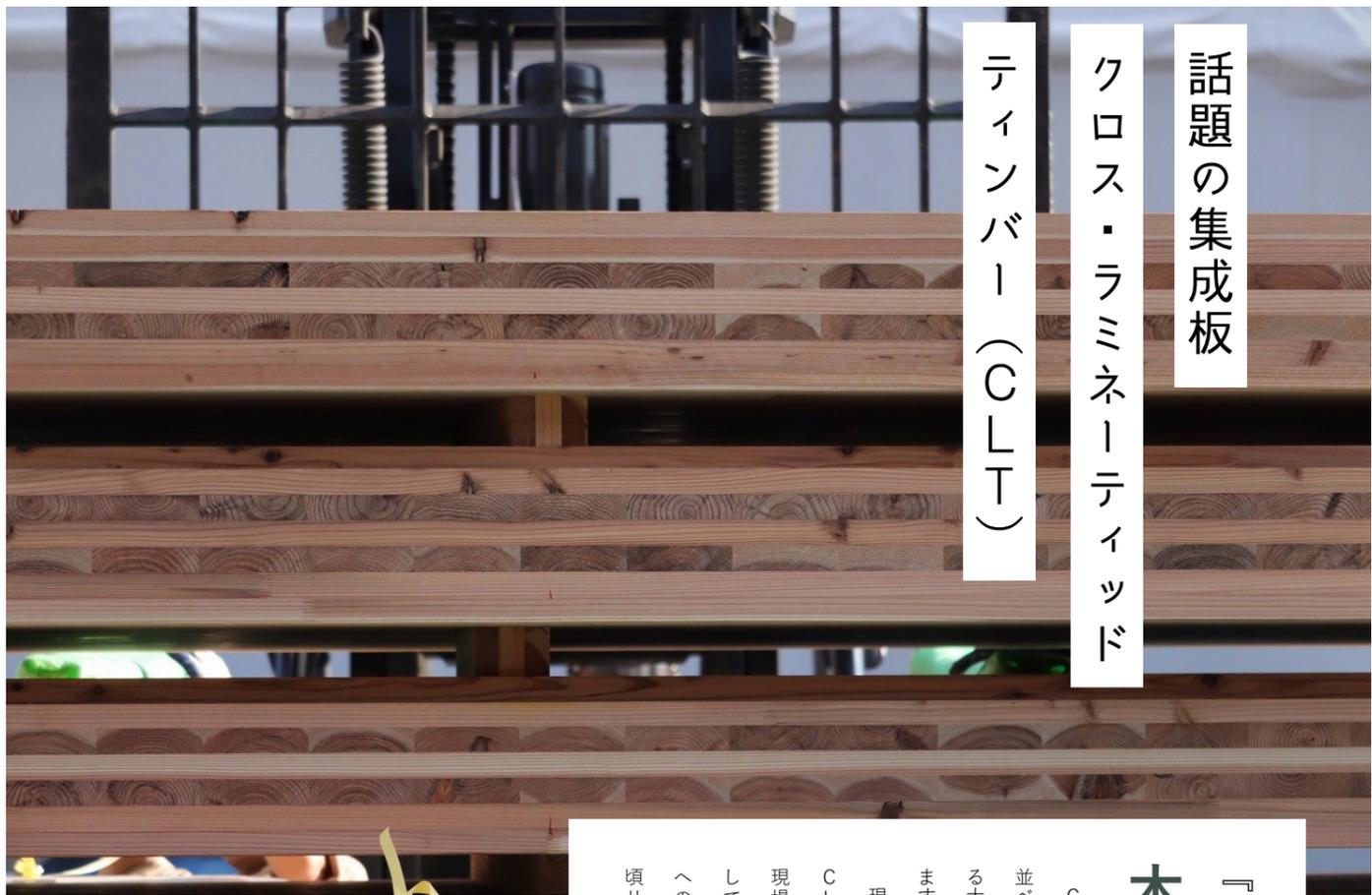


話題の集成板

クロス・ラミネーテッド

ティンバー（CLT）



『2016年から一般利用が開始された木の可能性を広げる直行集成板』

CLTはクロスラミネーテッドティンバーの略称で、ひき板（ラミナ）を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。厚みのある大きな板であり、建築の構造材の他、土木用材、家具などにも使用されています。ここ数年では木造高層ビルに多く利用されています。

現在改装中の「小諸市動物園」の屋根にも、このCLTが使われています。CLT一枚の大きさは3×12メートルもあるため、狭い路地が多い現場に配送するだけでも一苦勞でした。これからの高層建築の材料としてますます期待されるCLTですが、狭い道路や、入り組んだ土地への運搬が課題の一つであると感じました。小諸市動物園は来年5月頃リニューアルオープンの予定です。



→小諸市動物園施工時の様子です。狭いスペースの中でも正確なクレーンの操作に感服してしまいます。この日はあまり天候に恵まれませんが、何とか雨は降らずに済みました。



↑CLTの片面は化粧面となるので、傷や汚れが付かないようにリフトで上げる際は細心の注意が必要です。普段木材の扱いに慣れている成沢部長も「これは運びたくない！」とベソをかくほど。見ている側も心臓がドキドキしました！！

地域産材をふんだんに活用した事例

『上田市 新築戸建て』



木工事 施工事例のご紹介

上田市内の新築住宅。先月の11月にお引渡しとなりました。こちらのお宅は一階の床に無垢のオーク、二階の床に地元、信州から松のフローリングを使用しています。撮影した際に驚いたのは、床だけでなく階段材や天井板、ベランダ塀など、あらゆる場所に信州から松を使用している事です。特に存在感のある階段には無垢の（木の節が全くないもの）から松材が使われています。

針葉樹の中でも、杉やヒノキは無節のものが出回っていますが、から松は他の木と比べ節が多く、節の無いものを手に入れるのが難しい木です。それだけこだわりのあるお施主様なんだなあ、と木好き私としては、ほくほくとしたうれしい気持ちになりました。一階の半地下にはポルダリングルームもあり、一日中家で遊んでいられそうです。この素敵なお家で、ご家族が未永く幸せでありますように願っております。



階段には無節の唐松が使われています！



ポルダリングルーム



徒然日記

あえて、紙媒体という選択。

2022年1月より、電子帳簿保存法の改正など時代はますます電子化していく昨今、弊社では紙媒体のパンフレットをリニューアルしました。もちろんPDFでのパンフレットも用意しますが、あえて紙面にしたのは理由はあります。デジタルパンフレットの場合、細部を確認しようと拡大すると、ほかの部分が隠れて全体が見えなくなります。紙面の場合は、自分の顔を近づけるだけなので、すぐ全体を見ることが可能です。また、視覚以外の五感を同時に使ったほうが、記憶力が高まるという効果もあります。

以前、私が登山用品店に勤めていた際も「紙面のパンフレットがほしい。」というお声をよく頂きました。デジタルに慣れてきている若い世代であれば、そこまで気にしないかもしれませんが、ですがデジタルに慣れない世代や、機械が得意でないという方への配慮も必要なのではないかと思ひ、紙面でのパンフレットを残しました。環境面に配慮しながらも、色々な世代のニーズに応えられる、バランスの良い取り組みを目指していきたいと考えています。ぜひ皆様のご意見も聞かせただけ幸いです。



Concept



株式会社 第三木材

〒389-0514 長野県東御市加沢201-5 TEL:0268-62-1202 FAX:0268-62-1204

【HP】 <https://dai3wood.co.jp/>



WOOD CHANGE
「伐って、使って、植えて、育てる」



←CLTが大きいせいか、作業する大工さんが小さく見えます。